

2014 年 5 月 23 日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人

海外に子ども用車椅子を送る会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ベトナムに子ども用車椅子 80 台を送る活動 (実際には 150 台に増やしました。)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

日本に於いては医療器具である子ども用車椅子は子どもの身体や症状に合わせて買い換えられ、使われなくなった車椅子は廃棄処分されています。

他方、諸外国、特にアジアに於いては、車椅子の製造もされていないし、あるとしても高価で手が届きません。従って、障害を持つ子どもたちは家庭に閉じこもらざるを得ず、通院などで世話をする家族の負担も大きい。

これらの共に障害を有する日本の子ども達と、海外の子ども達とのギャップを埋めるべく車椅子寄贈の手助けをしているのが当会の活動です。日本国内に於いて高価な車椅子が廃棄処分されることなく海外で再利用される効果も生じています。

アジアの国の中で特にベトナムはその国の持つ戦争の歴史の犠牲者であり、特に枯葉剤作戦の犠牲は他の国にはない悲惨な結果を生んでいます。正確な数字を把握することすら出来ていないが 135 万人が障害児と言われています。当会は過去21ヶ国に約4000 台を寄贈していますが、ベトナムには今回で664台の寄贈となりました。

南北に長いベトナムではハノイやホ・チンミンの様な都市よりも地方での障害者の生活は病院や養護施設も少なくまた経済的にもより厳しい環境にあります。当会はベトナム赤十字と相談をしながら、将来はより必要度の高い地方への寄贈を考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1) 首都圏の特別支援学校を通じて車椅子の受け取り。
- 2) 引き取った車椅子を羽村の多摩包装工業の倉庫で最初の洗浄を行い、保管。
- 3) 毎月第 3 日曜日に福生市の交運社熊川工場の駐車場で会員やボランティアの手で車椅子の清掃、整備、修理、梱包を行い、多摩包装工業の倉庫に船積みまで保管。なお、2014年1月からは整備活動の場所が羽村氏の多摩包装工業に変わりました。
- 4) その間ベトナムの受入れ団体(赤十字)と寄贈の契約を結び、寄贈先(施設と個人)の選定。
- 5) 船積みの手配をし、多摩包装工業でコンテナ一詰めをし、横浜港に運び、予定された本船に船積み。
- 6) 船積後に船積み関係書類(船荷証券など)をベトナム赤十字に送付。
- 7) 贈呈式の日程をベトナム赤十字と確認をし、会の理事が出席。贈呈式には現地の地方政府組織と、日本大使館からの出席。
贈呈式に出席後、贈呈式に出席しなかった子供たちを訪問し直接車いすを届けました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

どの国向けのプロジェクトでも同様ですが、寄贈先の国の規則や習慣、特に我々の寄贈する子ども用車椅子に対しての理解が役所の担当者が十分に理解されていないことから、手続きに大変な日数を要することがあります。ベトナムはその難しい国の一つです。今回も、車椅子は1月に船積みの用意が出来ていたが、現地での輸入許可取得に時間がかかり、船積みを2か月延ばし、貨物到着後の通関に更にひと月以上を費やし、5月13日の贈呈式にこぎつけました。過去の経験で時間がかかることはある程度覚悟はしており、車椅子の写真など必要な情報は事前に送っていても、今回の様に「通関のシステムが変更になったから」という理由での遅れには当方は当然、ベトナム赤十字もただ待つしかない、というのが現実です。残念ながら色々工夫はしても限界はあります。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

上で述べたように、手続きに大変な時間とストレスがかかるプロジェクトですが、現地で車椅子を受け取った子ども達や特にその家族の喜んでいる顔を見ることが、次へのエネルギーとなっています。これは、どこの国へのプロジェクトでも同様です。また、現地で喜んでいる様子や、感謝の言葉、そして自宅を訪問して実際に車椅子が使用されている様子を、車椅子を提供してくれた日本の子どもたちと家族の方々に特別支援学校のPTAを通して報告した時に、車椅子を受け取った人達と同じように「よかった」と喜んでくれる人たちの姿も同じく我々を後押ししてくれています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ベトナムに子ども用車椅子を送る活動

- ◆首都圏の特別支援学校を訪問し、日本の子どもたちから提供された車椅子を受け取りました。



- ◆毎月第三日曜日に修理整備活動を行いました。

会員、ボランティアの人たちのほか、ベトナムの人たちも大勢参加してくれました。





車椅子の他に、子どもたちの歩行を補助するための各種補装具も一緒に送られました。

- ◆お昼にベトナムの人たちがフォーと揚げ春巻きを作ってごちそうしてくれました。レストランに負けない本格的な味でした。



- ◆梱包の終わった車椅子をコンテナに詰めて港に送ってベトナム向けに船積みです。活動に参加してくれている青少年自立センターの人たちも梱包番号の確認など、危険のない作業を手伝ってくれました。



- ◆2014年5月13日にベトナムのハイズオン省の赤十字事務所で車椅子の贈呈式が行われ、子どもたちの代表に車椅子が渡されました。



- ◆贈呈式に出席しなかった子供たちの自宅には当会の理事や赤十字のスタッフが直接車椅子を届けました。

初めての車椅子の座り心地は気に入ってくれたようで、すぐに扱いにも慣れ、自分で車輪を動かして部屋の中で動き回っていました。

「これで一日ベッドに寝かせなくてもよくなる。近所に行くときも抱きかかえていなくていいので楽になる」と家族も感謝していました。

